



JCNA 通信 第26号

発行日 2019.6.28
発行人 山口郁乃
編集人 福島恵子
創立 1957 (S32) 年

「祈って イエス様の力をいただいて、カトリックナースよ
行け、主の平和のうちに 病む人のもとに」

会長 山口郁乃

これは、ある日の本部役員会で飯野神父様が語られた言葉です。

このところ、宣教師の方々が高齢化されて、病の床から次々主のみもとに呼ばれました。

日本に宣教に来てくださってありがとうございます..と見舞っていたら、6月8日早朝、今度は JCNA 本部顧問飯野神父様の病室にお迎えの天使が来たのです。

飯野神父様は、昨年の名古屋大会では例によってアベマリアを歌われましたね。

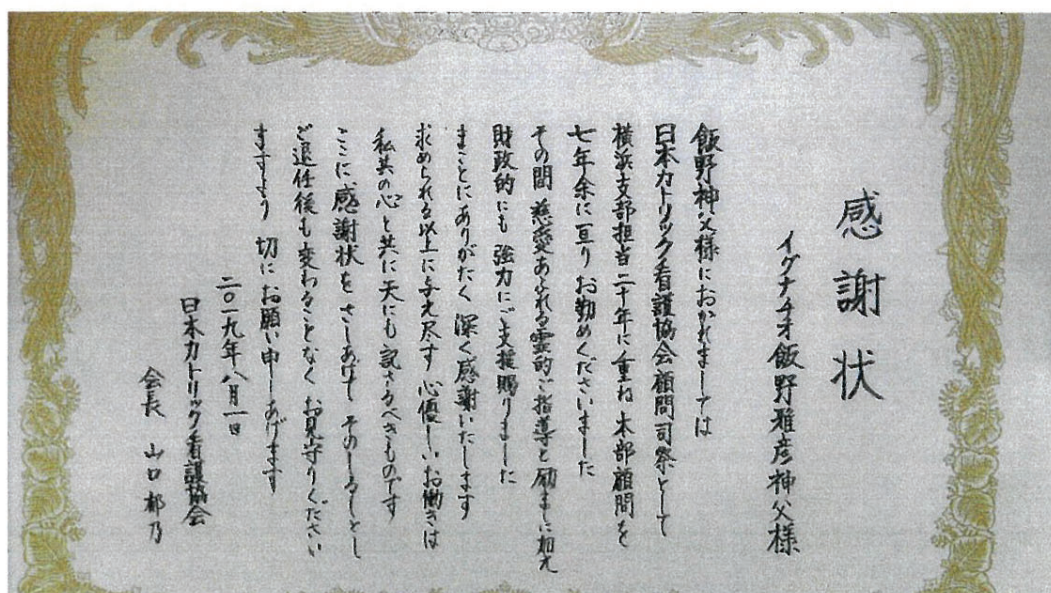
1月の本部役員会の折にはお疲れのようでしたが、終了時には、ベレー帽にパイプをくわえた笑顔で見送って下さいました。その後体調を崩され、2月から入院療養。4月27日の本部役員会時聖マリアンナ大学病院にお見舞いに行くと、酸素吸入、尿道カテーテル、IVH と不自由な状態の上に食事制限、厳しい水分制限があり、かなりつらい生活とお見受けしました。それでも、笑顔を絞り出して、「毎日体重はかるんだが、体重計に乗る時しり餅をついてお尻が痛いんだよ」と。その後透析もされていたとのことでした。

本部役員会ではいつも、カトリックナースはなぜ C がついているのか考えることが大切と言われました。「イエス様の癒しの力にカトリックナースも参加する。カトリックナースは大変な力をいただいており、愛の義務がある。患者さんは自分だけが苦しんでいると思っているが、一緒に苦しんでくださる方がおられる。ほかの人への愛として苦しみを捧げることができる、そのことを伝えて……」飯野神父様はまさにそのつらい療養生活を多くの人への愛としてお捧げになったと確信します。飯野神父様、ありがとうございました。

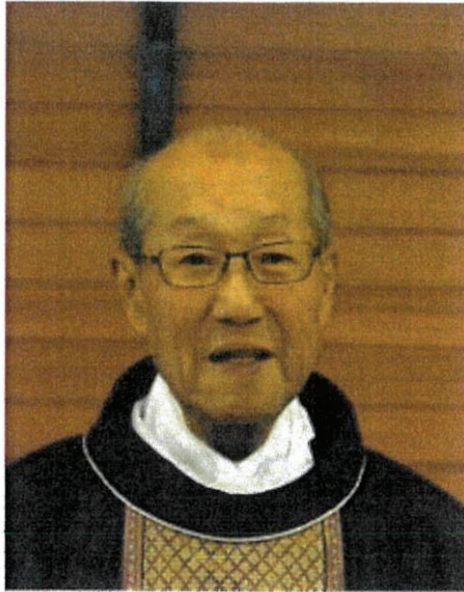
6月12日のお通夜には長谷川副会長、13日のお葬儀ミサには会長副会長参列しました。

もちろん横浜支部からも井坂支部長平田副支部長ほか参列されました。

JCNA から弔電、生花をお送りしました。長崎で差し上げる予定の感謝状はひつぎに入れていただきました。梅村司教様以下 20 名の司祭が司式され、幼稚園児らとともに「天のきさき」の歌声でお見送りしました。



イグナチオ・ロヨラ 飯野雅彦神父様 追悼
2019 令和元年 6月8日 帰天 (享年 82歳)



イグナチオ・ロヨラ 飯野 雅彦 神父

略歴

1937年9月23日	神奈川県横浜須賀町生
1955年12月8日	受洗 (栄光学園)
1965年3月22日	司祭叙階 (藤沢教会)
1965年～68年	横須賀三等教会 助任
1968年～70年	鶴見教会 助任
1969年～71年	横浜教区学生連盟総指導司祭
1971年～73年	菊名教会 助任
1973年～83年	教区事務局 局長
1983年～89年	横浜小神学院 院長
1989年～94年	松本教会 主任 聖テレジア幼稚園 園長
1994年～95年	金沢教会 助任
1995年～05年	金沢教会 主任
1998年～05年	天使幼稚園 園長
2001年～05年	三笠幼稚園 園長
2005年～14年	山手教会 主任 横浜みこころ幼稚園 園長
2014年3月～	磯子教会 小教区管理者 横浜みこころ幼稚園 園長

いつも喜びを忘れずにいなさい。
絶えず祈りなさい。
どんなことにも感謝しなさい。

(1テサロニケ 5:16～18) 2019年6月8日 帰天

飯野神父様を もしも 聖人にたとえれば やはり聖ヨセフ様だろうか
7年前に帰天された本部顧問司祭 川上誠神父様が最期に残された言葉。

「後を、横浜 飯野神父様に」と・・・。

その遺言を携えて山手教会を訪れると 「許可が出れば」と 即答でお引き受けられた。

日本カトリック看護協会を我が子の如くに愛し、横浜支部の顧問も長く続けられた

息を引き取る瞬間まで、本部顧問司祭としても 横浜の顧問司祭としても

その役割に 司祭としての 生き甲斐を感じておられたのだろう

謙虚で 優しく 穏やかで キリストの似姿として

生涯現役司祭を全うし 病床に倒れるまで生き抜かれた その強靱な意志と信仰

心臓の手術にも耐え抜き 人工透析にも耐え抜き

苦しい酸素マスクの下に キリストと受難を分ち生きた

今こそ 勝利のキリスト様の元へ 天の御国へ迎え入れられ 祝福をお受けになる

天の故郷で もう何の苦しみもない花咲く園に 永遠の命を授かった

飯野神父様 どうぞ これからは

天国から 日本カトリック看護協会を 見守って下さい。

5年前の大会で アヴェマリアと 富士山の歌を声高らかに歌われた

陽気な神父様のお声が これからは天から聞こえることでしょう

JCNA 第五代会長 城 麗子

飯野神父様

あなたがそこに居るだけで、やすらぎ 和みます。
ただそこに居るだけで、みんなの心に、喜びと平和が訪れます。
あなたがそこに居ることで、愛の絆が 一層強まります。
そのやさしい笑顔 忘れません。
心から歌い上げる「アベマリア」あの歌声
パイプをくわえた横顔
美味しそうにお酒を口にするときの オチャメ顔
ずっとずっと忘れません。

あなたは私たちに、カトリック看護師として
日々、キリストを証していくことの大切さを教えてくださいました。
いつも喜び、絶えず祈り、どんなことにも感謝することを
身をもって証してくださいました。

もうここに神父様はおりません。
ぽっかり大きな穴が開きました。
でも、私たち一人ひとりの中に、私たちのすぐそばに
いつもあなたはおられます。

ともに過ごした日々、愛し 支えてくださった JCNA 横浜支部より
心から感謝申しあげます。
飯野神父様 ありがとう！ またお会いしましょう。

横浜支部副会長 平田初枝

飯野神父様は、かねて本部顧問を辞任されたい意向でした。主は、後任として、名古屋支部顧問の暮林神父様を選ばれました。長崎総会で引継ぎの予定でしたが、急遽、本部に入ってくださいます。

暮林神父様から、みなさまへ、ご挨拶です。

川上誠神父の亡くなられた後に、名古屋支部の顧問を引き受けた暮林響（ごう）です。

聖霊降臨の主日に、看護協会や聖霊病院の事務の方々への黙想会を行っている最中に、飯野神父様の訃報を承り、同時にその日からカトリック看護協会の本部顧問のお仕事を頼まれることになり、祈りのうちに引き継ぎを、とあって 13 日には葬儀ミサと告別式に参列させていただきました。ものすごくたくさんのお花が寄せられており、飯野神父様がどれほど愛されていたか、そして看護協会はどれほど恵まれているか、改めて感じさせられました。今は天から、皆さんの奉仕をにこにこ、ほうほう、と言いながら見守っていて下さっていると思います。

名古屋から出ると静岡を通り過ぎるものですから、実家の母に飯野神父様の葬儀に向かっている旨を伝えると、「静岡教会に來られて召し出しのお話をされたときに、修道会と教区とどちらを選べばいいか質問した時に、『ご縁です』って答えられたので神言会に入ったわけ」とメールしてきてくれて、これもまたご縁かと思いつつ、今後飯野神父様の後任として本部での顧問を行ってまいります。若輩者ですが、どうぞよろしく願いいたします。

生まれるまえから

1)生まれるまえから
神様に
愛されてきたともだちの
誕生日ですおめでとう

2)生まれてきょうまで
みんなから
愛されてきたともだちの
誕生日ですおめでとう

(日本キリスト教団こども讃美歌より)

2018年4月JCNA本部より「新しい命が祝福の中にうまれることを支援する」活動の本部役員代行に任命されました。その時真っ先に思い出したのが、プロテスタントの教会で歌っていた上記のこども讃美歌です。この1年を振り返ってみると、生まれるまえから神様に愛された命が軽々しく扱われているニュースが続きます。後を絶たない乳児の遺棄や、虐待、いじめの問題と様々な内容で胸が痛みます。

このような事をなぜ神様は許されるのか、祈っても聖書をよんでも答えがみつかりません。もしイエス様が私の目に前にお立ちになった姿を見ることができたら、私はイエス様の胸を叩きながらイエス様に質問というより詰問したい気持ちです。

ルカによる福音書第2章は少年となったイエス様のご両親と共にエルサレムの神殿に行かれたことが書かれ、『イエズスは知恵も増し、背たけも伸び、ますます神と人ともに愛された』の文で終わっています。この箇所を読むとき私はいつも順番が逆ではないかと思っていまいました。私が福音書を書くなら、「イエズスは人と神に愛されて知恵もまし、背たけものびた」と書く方が自然な流れのような気がしたからです。

今回もこの箇所を読み、頭の中にスムーズに入ってきませんでした。『人と神に愛された』というフレーズが引っかかりこの言葉を考えることになりました。神の子もあかちゃんとなってこの世に来られた限りは、成長するにあたり多くの愛情を受けることが必要不可欠だったから、人間の子ならもっともっと愛情が必要なんだよと福音記者が伝えているのではないかと思います。

JCNAの支部活動の報告を読むと、「円ブリオ活動」の協力や募金などをはじめ、「こうのとりのゆりかご in 関西」の講演会出席などの活動が行われています。私たちはまずはこれらの活動を継続し、新しい命に対する応援団体でなければいけないと思っています。

「新しい命が祝福の中にうまれることを支援する」本部役員代行
2019年四旬節京都支部 西川 加之子

追伸

あくまでも聖書の感想は私個人の感想です。「私はこう思う」「それは違う」という意見も知りたいです。長崎でお目にかかれたら分かち合いしたいですね。

支部短信

名古屋 支部長 鈴木光恵

全国大会をきっかけとして、新入会員 3 名を迎えました。

6 月は多治見修道院で1泊2日の小黙想会に参加、7 月は松浦悟郎司教様を囲んで語る会を予定。

月例会では、『いのちへのまなざし』を輪読・分かち合いをもち、最後に顧問司祭の祝福を頂いて夫々の現場へ帰ります。毎回 10 人以上の会員が集うことができ感謝です。

東京 支部長 西村晶子

2019 年度会員数は 26 名です。

1 年間の支部活動は、

1. 支部ニューズレターの発行
2. クリスマス会の開催
3. JCMA 合同黙想会開催
4. JCMA 主催研修会のご案内・参加
5. 支部長通信の発行
6. これまでは聖母病院で会議等開催していましたが 5 月の役員会より、上石神井修道院で開催します。今後の支部の在り方について検討する予定。

福岡 支部長 牧山幸二

4 月に顧問司祭がお二人とも転勤になりました。新しい顧問司祭を心待ちにしていた折に、福岡教区長辞任のニュースが飛び込んできました。新しい顧問司祭は決まっておらず、予定もわからない状況ですが、定例会は予定通りに行い、現場の分かち合いをしています。

大分 支部長 阿南幸子

5/12 野津ルルド祭で救護活動、若い神父様 1 名、足を打撲捻挫、少々体調不良の中参加して下さったベテランの今津 NS が手当、後日感謝と御礼の便りを頂きました。

6/1~2 に大分支部主催の合同黙想会の準備をしています。この度で 17 回目です、臼杵教会主任

司祭の川口敏神父様から指導を賜ります。テーマは「家庭の福音化」16 名の参加予定です。今年も別府に集い心と体を癒して交流と学びを深めていただきたく準備しています。

長崎 支部長 野下しのぶ

2018 年 9 月 1 日~2019 年 5 月 31 日

支部定例会は聖フランシスコ病院の一室を借りて実施

2018 年 9 月 8 日(土)例会 8 名参加

9 月 24 日(日)聖トマス西と 15 殉教者ミサ救護
ドクター1名と看護師 5 名

10 月 5 日(金)~10 月 6 日(土)全国大会参加

11 月 10 日(土)聖体賛美後に例会

初めての参加 1 名 10 名

1 月 12 日(土)ミサの予定だったが指導司祭不在により聖体賛美に変更 9 名

2 月 3 日(日)日本 16 聖人殉教祭救護

雨天のため仲間地教会 6 名

2 月 16 日(土)~2 月 17 日(日)佐世保・お告げの聖母修道院で黙想会

指導司祭は大分教区 山下教師 20 名

3 月 9 日(土)聖体賛美の後に例会

引越し会員の送別会 10 名

3 月 18 日 大浦天主堂信徒発見の記念ミサ救護
ドクター1名 看護師 4 名

4 月 13 日(土)長崎支部総会 10 名

5 月 19 日(日)雲仙殉教祭救護

•例会の始めに聖体賛美を行う

•教会活動で行われている大村入国管理局に黙想されている人々の面会を月 1 回一緒に行っている。

広島 支部長 山口郁乃

教皇様はどのような旅をなさるのでしょうか？

広島の世界平和記念聖堂においてになるなら、参列者の救護を「JCNA がしてください」白浜司教様のお言葉です。お待ちしております。



日本カトリック看護協会

Japan Catholic Nurses Association

お知らせ

- *長崎大会に参加される方、からのペットボトルを用意しましょう。
2日目に本河内ルルドを回ります。
- *高松支部は会員3名という窮地に立っていましたが、主は2名の
新会員を送られました。共に喜びましょう。
- *本部会計よりお願い
新年度のための会費を6月に納入することになっています。
各支部会計さんは会費の振込と名簿をお送りください。

会費振込先：りそな銀行 柏支店 普通 0223158

日本カトリック看護協会

名簿郵送先：270-2251 千葉県松戸市金ヶ作 313-12

(本部会計) 石原貴子

TEL & FAX 047-384-3530

